



デザイン性高く個性豊かながら、  
機能性の高い商品を提案しています。—カグクロ(株)マルヨシ事業部



### カグクロ(株)マルヨシ事業部

所在地/〒831-0033  
福岡県大川市幡保283  
代表者/中林 正至郎  
TEL0944-86-3852  
FAX0944-88-2260  
[E-mail]maruyosi@magma.jp  
創業/昭和34(1959)年  
従業員/30名  
営業時間/8:00~18:00  
定休日/日曜・祝日

「当社はユニークなデザインが多いんです」。会社の一角に設けられたショールームには社名と違って民芸家具はなく、弓なりのアームが目目を引くテレビボードや、棚が浮いているように見える飾り棚など個性的な商品が並びます。個性が強くても部屋にスッとなじむのは、落ち着いた色調で圧迫感がないからでしょう。

社長が商品のほとんどをデザインします。「家具は家族の一つだから癒しや和みが必要」と言い、大切にしているのは「遊び心」です。時流をつかむために、自ら「ミラノサ

ローネ国際家具見本市」に出かけ、米国・ソーホーなどを散策すると言います。人気ショップを見つけると、その理由をあれこれ考えるのだとか。展示会でお客様の行動、言動にも注目し、洗濯物を持ったまま片手でタンスを開閉する女性が多いと知ると、すぐさま片手で開けやすいタンスを開発しました。

モノづくりを愛してやまず、好奇心旺盛な社長が今後どんな商品を生み出すのか。楽しみです。

顧問 吉原 敬利



### TOP VOICE

まちやショップ、女性の話などからインスピレーションを得てつくっているからこそ、同社には「あるといいな」と思う商品や「こんなのが欲しかった」という商品があるのです。



デザイン機能より品質にこだわる。信用を積み重ねることで  
社会貢献する企業となる。——株式会社 家具の大丸



### 株式会社 家具の大丸

所在地 / 〒833-0045

福岡県筑後市大字四ヶ所菅原田460-1

代表者 / 大宅 善男

TEL0942-52-1128

FAX0942-52-1132

[URL] <http://kagudai.co.jp/>

[E-mail] [daimaru@kagudai.co.jp](mailto:daimaru@kagudai.co.jp)

設立・創業 / 昭和14年1月

会社設立 / 昭和23年8月

資本金 / 2,000万円

従業員 / 18名

営業時間 / 9:00~17:30

定休日 / 日曜、祝日、第2・4土曜

●ショールーム

営業時間 / 10:00~19:00

定休日 / 水曜日、第2・4木曜



大宅善男社長で3代目となる「家具の大丸」。卸で始まり小売りも行うようになり、北海道から沖縄まで販路を広げています。特に関東圏は強いようで、主力商品はダイニングテーブルや椅子を中心に生活スタイルの変化に合わせて次々と新しいものにチャレンジしています。

「家具の好みは、時代や地域、お客様の年齢層や趣味によって変わります。お客様のニーズにお応えするため、ご要望を待つのではなく、私たち自らがいろいろな家具の展示会に足をのばし、バイヤーを訪ね、関係会社の営業の方のご意見を吸い上げるなど情報収集に務め、よりお客様に喜ばれる商品をご提案しています」と語る大宅社長。

そして「家具の大丸」ではなによりクオリティ・コントロールを徹底しています。欠陥のない商品をご提供する、という当たり前の事を当たり前にするため、商品に一箇所でも問題を見つけると、その商品のコンテナの出荷を即ストップし、全品をチェックするという



徹底ぶりです。その上でOEM先も含め、今後どのように改善していくかを協議し、改善ができるように体制ごと見直し、品質向上に努めているそうです。

「家具の大丸」は企業力と、高品質と付加価値の優れた商品であるという安心感を反映したうえで、お客様に納得のいただける魅力的な価格設定に挑戦しています。



### TOP VOICE

ライフスタイルが多様化するいま、ヒット商品を開発する事は容易ではありませんが、小売店様や展示会などから情報収集し、時代に合わせた商品づくりにチャレンジしています。定番の商品も、当社ならではの付加価値を盛り込みながら商品開発を続けています。



誠実なものづくりで

木の持つ温かさや味わいを伝える。————カメヤ家具工芸



### カメヤ家具工芸

所在地/〒831-0034

福岡県大川市幡保65

代表者/柿添 一年

TEL0944-86-3760

FAX0944-86-3760

[URL]http://www.kameyakk.com/

[E-mail]info@kameyakk.com

設立/昭和41年

資本金/ 300万円

従業員/ 2名

営業時間/ 9:00~18:00

定休日/日曜祝日



カメヤ家具工芸は婚礼家具の製作所として昭和41年創業。以来、無垢材にこだわった製品づくりを進めています。

現在、同社が取扱うのはすべて受注生産の家具。お客様一人ひとりの要望に応じて、ベッド、テーブル、店舗のショーケース、テレビボードなどさまざまな家具や装備品を製作するほか家具再生も行います。

取引先は東北から九州までの家具店。各店舗からの注文をはじめ、個人のお客様が直接同社まで足を運んで注文するケースも少なくありません。「お客様には欲しい家具のしっかりとしたイメージを持ってオーダーし



ていただきたいのです」と柿添社長。お客様の要望を確認しながら、強度をいかに保つか。素材は何がベストか。一つひとつ詰めていきます。時には経費より強度を優先して納品することもあるのだとか。

二度三度と購入するカメヤファンも多く、誠実なものづくりを通じて木の温かさを多くの人に伝えています。



### TOP VOICE

無垢材にこだわり、長く使っていただける家具づくりを目指しています。お気軽にお客様の商品イメージをお聞かせください。温かくて安らげる、そんな木のある空間づくりのお手伝いをします。



すべてのパーツが自社生産。  
自然の素材感にこだわり新素材を開発。

株式会社河口家具製作所



株式会社 河口家具製作所

所在地 / 〒832-0089

福岡県柳川市田脇289-1

代表者 / 河口 健

TEL0944-74-4661

FAX0944-74-4756

[URL] <http://www.kawaguchikagu.jp/>

[E-mail] [mkawaguc@d2.dion.ne.jp](mailto:mkawaguc@d2.dion.ne.jp)

創業 / 昭和34年4月

設立 / 昭和45年6月

資本金 / 1,000万円

従業員 / 52名

営業時間 / 8:00~17:00

定休日 / 会社規定による



創業から50余年の歴史をもつ河口家具製作所。本社事務所に併設された近代的な工場が印象的です。同社が製作する主要製品は、食器棚やリビングボード、キッチンカウンターなどホームユース向けの家具。取引先は全国の家具小売店や大手家具量販店です。いずれの製品も“オーガニックな生活空間”をテーマに展開。北米産のブラックウォールナットやホワイトオーク、タモなどの素材を使用し、天然木にこだわったものづくりが特長です。



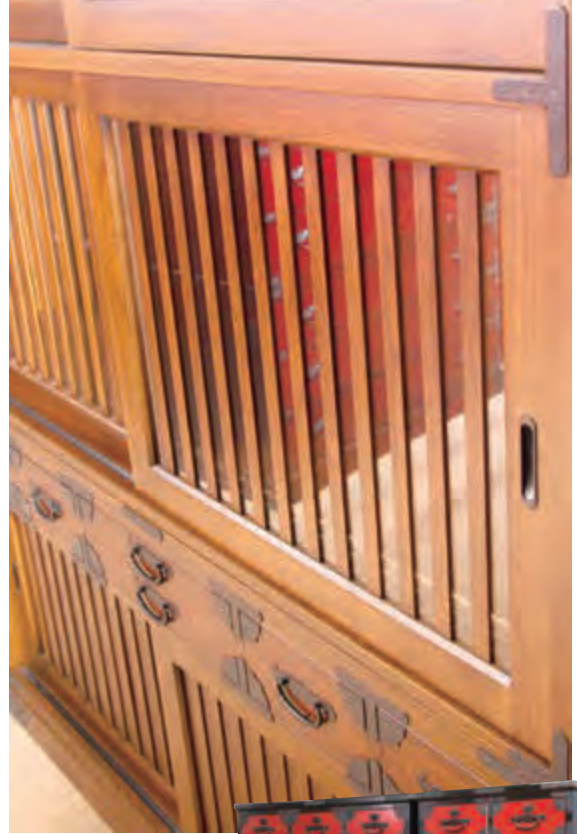
また、同社のもうひとつの大きな特長は、すべてのパーツを自社生産している点です。「すべて自社生産ではそれなりにコストはかかりますが、品質管理や素材開発まで社内で出来る点が大きなメリットだと思います」と河口社長。オープンボードなどの表面材として使用している節を生かした突板も、技術提携している突板工場と試行錯誤の末に一年かけて実用化しました。今後も独自の新素材を開発し、製品に生かしていく計画です。



#### TOP VOICE

洗練されたデザインや天然木の素材感を大切に、付加価値の高い製品をテーマに商品開発しています。常に新しい発想でものづくりに取り組み、本物志向のお客様の期待に応えてまいります。





ケヤキの民芸家具で  
木の温もりを伝え、癒したい。

株式会社 川野工芸



株式会社 川野工芸

所在地 / 〒832-0058

福岡県柳川市上宮永町457-1

代表者 / 川野 キミヨ

TEL0944-72-0171

FAX0944-72-0172

創業 / 昭和39年

創立 / 昭和47年

資本金 / 1,000万円

従業員 / 13名

営業時間 / 8:00~17:00

定休日 / 土曜、日祝日



和風旅館や料亭などで見かける階段箆筒や車箆筒民芸家具。川野工芸は、昭和39年の創業以来「筑後民芸家具」一筋でこまできました。良質な東北産のケヤキを使って、一つひとつ細部にまで気を配って作り上げられます。最近の家具のように引き出しにはレールはついていないため、引き出しの微調整、前飾りや鍵座など金具の取り付けは手作業で行なわれます。金具は大坂の工場で作ってもらった、真ちゅうの鋳物に防サビ加工した物です。そのため長く使うことができます。

民芸家具を作り続けて30年以上の職人の手で作られた家具は堂々とした風格さえ漂

う品。伝統的な民芸家具だけでなく、最近ではブルーやブラウンなど新たなカラーリングを施した民芸家具も発表されています。「ケヤキは木目が綺麗です。それを生かすために目止めなどをして木目が立体的に浮かぶようにしています」と2代目の川野さん。別注家具や修理にも対応されていますので、民芸家具に興味のある方は、一度ご相談ください。



#### TOP VOICE

デザイナーを採用して、新しい民芸家具や民芸の技術を生かして新たなジャンルの家具も作っていきたく考えています。人の手で最後までしっかり作り上げ、ケヤキの美しさや優しい風合いを伝えていきたいですね。民芸家具は、日本人の心を癒し、ほっとさせてくれますから。



## 無垢家具と一枚板の専門店。 手づくりならではの温もりと作り!

きさいこうぼう  
木彩工房



木彩工房(きさいこうぼう)

所在地/〒831-0033

福岡県大川市幡保176-23

代表者/小島 嘉則

TEL0944-87-1165

FAX0944-87-1165

[URL] <http://blogs.yahoo.co.jp/tnqgq305>

[E-mail] [kisaikobo@yahoo.co.jp](mailto:kisaikobo@yahoo.co.jp)

営業時間/ 9:00 ~ 18:00

定休日/第3水曜日

木彩工房は小島嘉則さんがデザイン・製作・販売までを1人で行っている工房です。厳選された無垢材を使い、木目の美しさを活かした一枚板のテーブルやテレビ台など木の家具なら何でも手作り。工房を兼ねた店内にはいとそこには木が香りあふれ、壁には見事な一枚板や国産材を中心に世界の銘木がズラリと並んでいます。

“70年、80年たつてアンティークとして扱われるような家具作り”を目指す木彩工房。それゆえ、小島さんが作り出す家具には細



### TOP VOICE

とにかく頑丈に作る。目指すは100年後のアンティーク和家具。無垢家具に使う木の樹齢は100歳を超えるものも多いんです。その時間の重みを感じ、愛着持って永く共に暮らして欲しいですね。だから、製作にはお時間がかかります。乾燥処理をしっかり行い、組み合わせるほぞ組み・蟻型追い入れ接ぎ・通し蟻組みといった伝統的な技法を用いて一点一点手作りで家具を作ります。

お届けまでにはお時間がかかりますが、待ち時間も楽しみに思っただけなら幸いです。



かな所にまで手仕事の技が光ります。たとえば、木に切り込みを入れて組み合わせる「木組」。通し蟻組や蟻型追い入れ接ぎという技法で作られた家具は、とりわけ強度に優れています。お店には木組の模型も展示しているので、実際に手にとって匠の技を見てみてください。

お店に行くと同様な新しい発見にも出会えるはずですよ。





環境・人体に優しい材料と伝統工法を使って

丈夫で上質なタンスを製造 ————— 有限会社 喜多製作所



有限会社 喜多製作所

所在地/〒831-0016

福岡県大川市酒見841

代表/代表取締役 喜多 憲一

TEL0944-86-4075

FAX0944-87-1806

[URL]http://kitaseisakusyo.jp

[E-mail]kitase@po.fukuokanet.ne.jp

創業/明治20(1887)年

営業時間/ 8:00 ~ 17:00

定休日/日曜・祭日



板が外れることがありません。また前板は15～24mm程度と厚く、底板はべた底と呼ばれるつくりのためにたわむことがなく、丈夫な構造になっています。婚礼ダンスの流れを組む桐材を使いながら、お掃除ロボットが入るように脚をつけた「輪(りん)」や、赤や黒の塗装を施したモダンなシリーズ「善(ぜん)」は人気商品となっています。



明治20年創業以来、昔ながらの工法を大事にして家具づくりを続けている会社です。国産材を中心に、MDFは使わず合板を使用。輸入材の場合はすべて合法木材として認証されたものを使っています。また、ホルムアルデヒド放散等級の最上位規格である「フォースター」を使用し、材木からボンド、塗料に至るまで、人体にやさしいものを使うという徹底ぶりです。

収納家具や婚礼小物をつくり、得意とするものは洋ダンス。引き出しはダボで組まず、昔から高級桐ダンスに用いられたアリ組や箱組で組み立てているため、がたつきがなく、



#### TOP VOICE

これらの商品は百貨店や小売店に卸し、販売エリアは北海道から沖縄まで。直接販売もし、オーダーも受け付けています。「今後も良い商品をつくっていきたい」と、4代目となる現社長は話しています。



TOP VOICE

山で育った私は、とにかく木が大好きで、10代のころから家具の仕事に携わっています。府中家具で知られる広島出身ですが、縁あって37歳の時から大川で暮らしています。国産銘木の魅力を、一人でも多くの人に知ってほしいですね。



日本伝統工芸士による熟練の技で、  
年輪を刻んだ銘木を、味わい深い家具に。

九銘ハウジング 株式会社



九銘ハウジング 株式会社

所在地/〒831-0015

福岡県大川市大字本木室306-5

代表者/佐藤 操

TEL 0944-88-2088

FAX 0944-86-3388

[URL] <http://www.kyumei-housing.co.jp/>

[E-mail] [kyumei@kyumei-housing.co.jp](mailto:kyumei@kyumei-housing.co.jp)

創業/昭和38年

設立/昭和59年10月

資本金/1,000万円

従業員/38名

営業時間/8:00~17:00

定休日/不定休



屋久杉をはじめ、国内産の銘木を使った家具や一枚板をつくり続けて半世紀になるといふ佐藤社長。自ら産地に足を運んで丸太を買い付け、5年の歳月をかけて乾燥させ、6人の職人たちが熟練の技で味わい深い家具をつくり出しています。

広々とした展示スペースには、分厚い一枚板や重量感のあるテーブル、樹木の個性を生かした飾り棚などがすらすらと並んでいます。「家を建てるなら裏山の木を使い」ということわざがあるように、湿度の高い日本で使う家具には国産木が最適です」と、国産材

に対するこだわりを熱く語る佐藤社長ですが、「でも本業にはなりません。趣味でやっています」と苦笑いも。

最近、新しく始めたのが、子どもたちが楽しい夢を見られそうな『カーアイベッド』の輸入・販売です。スポーツカーや電車をモチーフにしたベッドや、お姫さま気分が味わえるベッドなど、全12種類を量販店に卸します。「親子で組み立てるところから楽しみが始まり、大人も使えるサイズなので長く愛用できます」と、佐藤社長はその魅力に期待を寄せています。



家具以外にも、垂直軸型風力発電や太陽光発電システムの開発・販売を手掛けたり、世界でも希少なフルボ酸を含有する大川温泉を開業するなど、九銘ハウジングの業務内容は多彩です。







伝統技法の総桐たんすをはじめ、テーブル・食器棚・チェスト・ベッド・椅子、そして畳風の床など、商品アイテムは実に多彩です。

桐と向き合い続けて100余年。

家具に命を吹き込む職人の手仕事。————— 桐里工房



を入れており、削り直して新品同様によみがえらせるだけでなく、サイズやデザインを変えて現代風にリメイクすることも。さらには「良い家具をつくるためには、良い素材が必要」と、桐の植林にも取り組んでいます。新たな100年を歩み始めた桐里工房では、4代目となる息子にバトンを渡す日も、そう遠くはありません。



創業以来、大川家具の原点ともいえる桐の家具をつくり続けている桐里工房。桐の特性を知り尽くし、その良さを最大限に生かした家具を創り出しています。

多くの家具メーカーが機械化や分業化で効率を優先させる中、桐里工房では昔ながらの木工道具を使い、一つの家具を一人の職人が仕上げる「一人一品製作」を貫いています。「おそらく日本で一番、機械の無い工房だと思います。時代とともに変化していくことも大事ですが、守るべきものは守らなければ」と、工房を守る3代目の稗田社長は言います。

表情豊かなデザインは、稗田社長自身の手によるもの。「まず詩を書くんです。そうすると詩の中に部屋が見えてきて、家具のデザインが浮かんできます」。お客さまと打ち合わせをしながらデッサンを描き起こすオリジナル製品は、全て一点ものです。

古くなった総桐たんすのリフォームにも力



#### TOP VOICE

家具を買うときは、見た目や値段だけで判断せず、つくり手とじっくり話し、納得するまで思いや価値を聞いていただければと思います。桐箱や桐のげた、桐たんすなど、古くから生活道具として使われてきた桐は、日本の気候風土にもっとも合う木材ではないでしょうか。

#### 桐里工房

所在地/〒831-0004

福岡県大川市榎津74-3

代表者/稗田正弘

TEL0944-86-3938

FAX0944-88-2281

[URL] <http://kirikoubou.com/>

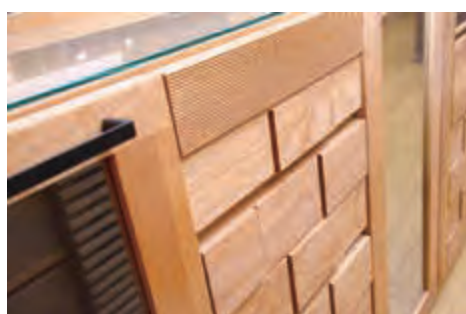
[E-mail] HPのメールフォームから送信ください

創業/明治45年

従業員/9名

営業時間/8:00~17:00

定休日/日祝日、月2回土曜



生活スタイルの変化に合わせて、  
デザイン性の高い家具を生み出す。

—— 有限会社 隈木工所



有限会社 隈木工所  
所在地 / 〒831-0012  
福岡県大川市上白垣41  
代表者 / 隈 満弘  
TEL0944-88-1985  
FAX0944-88-1993  
[E-mail] info@ookawakagu.com  
創業 / 昭和45年  
創立 / 昭和62年  
資本金 / 1,000万円  
従業員 / 17名  
営業時間 / 8:00~17:00  
定休日 / 第2・4土曜、日祝日



創業時からタンスや棚など収納家具をメインに製造してきた隈木工所。今では幅広い種類の家具を作られています。こちらで作られる家具の特徴は、隈代表取締役自らが手掛けるデザイン。さまざまな家具だけでなく、いろんな物を参考にしながらデザインされる家具は、見た目のカッコ良さだけでなく、使い勝手も抜群です。大川市内から仕入れたムク材やシート材、MDFなどを使い、平均で毎月5作品以上の新作を発表されているから驚きです。そのデザイン力で、大手通販会社の家具も企画されています。デザインや企画に自信があるから、「長年丁寧に作ってきて、それぞれに特徴がある。だから、家具を見れば、どこの会社で作ったかわかるでしょ」と隈さんは言います。最近では医療関係の別注家具なども多く手掛けているそうです。



技術の伝達にも積極的に取り組んでいるため、こちらでは多くの若者が働いています。それは日本人に限っておらず、中国からの研修生も毎年6人前後受け入れています。



#### TOP VOICE

これからは別注家具が中心になっていくと思いますよ。それに対応できる幅広さとスピードが求められます。いろんな物を作ることで、私たちの幅も広がっていくので、これからも数百種類の家具を作れるようにしていきます。もちろん、時代の流れや生活スタイルに合わせて新作も作っていきます。





部材加工専門に高い技術力。

知恵と工夫で商品開発をサポート。——株式会社 クラフト富安



株式会社 クラフト富安

所在地/〒832-0807

福岡県柳川市三橋町枝光369-6

代表者/富安 英雄

TEL0944-74-1535

FAX0944-72-1090

[E-mail]craft\_tomiyasu01@yahoo.co.jp

創業/昭和60年

設立/平成3年

資本金/1,000万円

従業員/4名

営業時間/8:00~17:00

定休日/日祭日、第2・4土曜日

二次加工、部材加工を専門に行うクラフト富安には、九州一円のメーカーや家具店、プロダクトデザイナーなどから、さまざまな依頼が寄せられます。これまでは家具の部材加工をはじめ、お洒落なランチボックスやおひつ、木製ダンベル等の商品開発をサポート、工場には現在製作中の可愛い鍋敷きが並んでいます。「依頼されれば何でも作るの、何を作っている会社ですか?という質問が一番返答に困りますよ」と笑う富安社長。依頼はいずれも高度な技術を要するものばかりですが、「断らずに挑戦」がクラフト富安のモットー。「他社がやらないような



面倒な依頼も断らずにやって来たので今があります。私たちの仕事は技術力よりも知恵と工夫が大切だと思いますね」。NCルーター販売会社の営業担当者から「どうやって作ったんですか?」と聞かれた時は、さすがに少し鼻が高かったと笑います。クラフト富安では今後も旺盛なチャレンジ精神で、ものづくりに取組んでいきます。



#### TOP VOICE

当社の多くの仕事は「こんな加工は出来ますか?」というお客様からの問い合わせから始まります。部材加工について疑問、質問等ございましたらお気軽にお問い合わせください。



将来のライフスタイルも考え、一枚板と天然塗料の家具をお作りします。——工房我楽堂 有限会社



### 工房我楽堂 有限会社

所在地/〒835-0103

福岡県みやま市山川町清水1305

代表者/橋村 時生

TEL0944-67-0103

FAX0944-67-0900

[URL]http://garakudou.co.jp/

[E-mail]info@garakudou.co.jp

設立/平成元年

資本金/800万円

従業員/13名

営業時間/工場 8:00~17:00

ギャラリー 10:00~17:00

定休日/工場 第2・4土・日祝日

ギャラリー 無休



それぞれの家族のスタイルに合わせ、一つひとつ丁寧に仕上げる家具に定評があります。例えば、食卓テーブルの脚を短くすることで座卓にできたり、大人数にも対応できるように拡張できたりもします。今必要な家具、将来も見据えた家具作りと提案が我楽堂の特長でもあります。



### TOP VOICE

国産のナラ、クリ、サクラ、ケヤキなどを使ったオーダー家具の専門店です。お客様のわがままを形にすることが私たちの喜びです。オーダーから納品まで約2ヶ月かかりますが、予算、材料、使い方などを聞いて、最適な家具をお作りいたします。一枚板で作る温かみのある家具に、ぜひ触れに来てください。



デザインや機能面にもそれが生きています。木目を使い込むといかに変化していくかを考えてテーブルの天板を作り、食事時に立つことの多い奥様用の椅子は立ち座りがスムーズにできるように座面を回転式にしています。こうした細かい心配りがどの家具にも生きています。

また、漆や柿渋の塗料を使って仕上げる一枚板を使い続けているのも特筆すべき点です。丈夫な一枚板は元々長く使える素材ですが、それに防腐効果のある柿渋や抗菌作用のある漆で仕上げることで、より長く使えるようになるのです。もちろん、どちらも天然の塗料なので、赤ちゃんからご年配の方まで安心して使えます。自分や家族の未来を考えながら、ここでしか出会えない温もりにあふれる家具を探してみませんか？





天然木を使った強固なつくりの収納家具。  
自社製品だけでなくOEMも得意分野です。

古賀清木工 株式会社



古賀清木工 株式会社

所在地/〒831-0012

福岡県大川市大字上白垣168-1

代表者/古賀 聖剛

TEL0944-87-4624

FAX0944-87-4622

[URL]http://kogakiyo.com

[E-mail]info@kogakiyo.com

創業/昭和25年9月

設立/昭和49年

資本金/ 1,000万円

従業員/ 10名

営業時間/ 8:00~17:00

定休日/土・日・祝

創業者の名前を冠する古賀清木工は、洋ダンス・チェスト・キャビネットなど「箱もの」と呼ばれる収納家具に力を入れています。OEM家具やコントラクト家具の注文の多さからも、確かな技術と品質の高さに寄せられる信頼のほどがうかがえます。

古賀清木工では、とりわけ引き出しのつくりには妥協を許しません。前板や側板だけでなく底板にも厚みのある木材を使い、蟻組みやロッキングといった伝統的な手法で強固なつくり。さらには、引き出しを入れる本体の内側に化粧紙を貼るなど、衣類を守る気配りも怠りません。古賀社長は、「手間もコストもかかりますが、受け継いだものを大切にしたいし、お客さまにも長く使って

いただきたいので」と、その理由を話します。

30数年来の契約デザイナーとともにつくり出す自社開発の家具は、天然木を使った上質感と、流行や年代を選ばないシンプルなデザインが好評です。



#### TOP VOICE

オリジナリティあふれるOEM家具は、ぜひ当社にお任せください。技術に自信がありますので、小ロットでもオリジナルでも、どのようなご要望にもお応えします。小売店の販売ツールとして開設しているホームページも、どうぞご活用ください。

また、OEM家具も古賀清木工の得意とするところで、大手家具販売店からの製造依頼が後を絶ちません。さらには、学校や病院の収納棚、マンションのクローゼットや下足入れ、図書館の書架といったコントラクト家具事業も10年以上の実績が。小ロット生産体制で、さまざまな空間のトータルコーディネートに対応しています。



屋久杉の自然美に魅せられ  
丁寧なものづくりでその魅力を伝え続ける。

— 有限会社 古典木工



有限会社 古典木工

住所 / 〒831-0004

福岡県大川市榎津73-1

代表者 / 古賀 通弘

TEL0944-87-1189

FAX0944-86-5815

[URL]<https://yakusugi-koten.com/>

[E-mail][koten\\_yakusugi@extra.ocn.ne.jp](mailto:koten_yakusugi@extra.ocn.ne.jp)

創業 / 昭和30年

設立 / 昭和47年6月

資本金 / 500万円

従業員 / 7名

営業時間 / 9:00~18:00

定休日 / 日曜

「屋久杉には他の木にはない神秘性があります。厳しい自然環境のもと長い年月をかけて育つために独特の美しい木目を形成す



#### TOP VOICE

屋久杉は“神木”といわれるほど生命力にあふれ、複雑な木目の美しさが魅力です。希少価値の高い屋久杉の魅力を、多くの方に知って頂きたいと願いひとつひとつ丁寧に製作を続けています。家具や仏壇のほか、茶道具等のオーダーも承ります。

るのです」と屋久杉の魅力を語る古賀社長。古典木工で製作するのは、茶棚や飾り棚、仏壇、テーブルなど、小物からトータル家具にまで及びます。

屋久杉は特別天然記念樹木に指定されており、地球環境保護のため現在は伐採が禁止されています。古典木工では、江戸時代に伐採された木や切り株などが、低温多湿な森のなかで朽ちることなく熟成した土埋木（どまいぼく）を使用しています。屋久杉は一般的な杉に比べ成長が遅いため年輪が多く、樹脂も多いために製材には手がかかります。製材後は、半年以上かけてアク抜きと乾燥、その後ようやく製作行程です。熟練の技により木の個性を引き出し、存在感のある家具へと生まれ変わります。



エンドユーザーの声に耳を傾け  
桐箆笥から琉球家具まで  
幅広く製造しています。

——— 有限会社 寿家具大川製作所



有限会社 寿家具大川製作所

所在地 / 〒831-0016

福岡県大川市酒見512・513

代表者 / 辻 政廣

TEL0944-86-3283

FAX0944-86-3284

[E-mail] kotobuki-kagu@nifty.ne.jp

創業 / 昭和38年(1963年)

設立 / 昭和40年(1965年)4月1日

資本金 / 300万円

従業員 / 15名

営業時間 / 8:00 ~ 17:00

定休日 / 日曜・祝日



50年ほど前に創業した同社は、婚礼家具を作っていた技術を生かしています。製造する半数は桐箆笥やチェスト類が占め、残りは「琉球仏壇」です。

「琉球仏壇」は観音開きや三方開きのような仏壇と違い、タンスや食器棚を思わせるような造り。桐やパイン、メイプル材を使って、上段にお位牌や線香立て、下段に引き出しや



#### TOP VOICE

家具はデパートに卸しており、「販売員やエンドユーザーのニーズを直接聞くことが大事」と、催事の売り場に立つようにしています。技術の押し売りにならないよう、消費者との対話を大切にしている会社です。



引き戸式の物入れをつくり、さらに上部に欄間をしつらえることもあります。

先祖を敬う気持ちの強い沖縄地方は、家庭に1つ仏壇を持ち、4年に1度買い替える風習があるといいます。しかし沖縄の製造会社の減少等によって生産が間に合わず、同社社長がたまたま沖縄の家具店と知り合ったことから同社に製造の依頼が舞い込んだとか。部品を作る中国のメーカーとパートナーを組んで、5～6年前から製造を開始。当初は図面引きから始め、慣れない作業で苦勞もしましたが、今では沖縄の家具店からの信頼もあつく、着実に実績を上げています。また、その誠実で丁寧な仕事ぶりは国内のメーカーに知られるようになり、国内の現代仏壇の注文も増えたといいます。





代々受け継がれてきた確かな職人技術。  
真摯な姿勢でよりよい家具づくりを実践。——— 小原木工



### 小原木工

所在地 / 〒831-0004

福岡県大川市榎津806

代表者 / 小原 潤一

TEL 0944-87-0789

FAX 0944-87-0456

[E-mail] koharamokkou@gmail.com

営業時間 / 8:30 ~ 18:00

定休日 / 日曜・祝日



築100年以上の作業場を構える小原木工。代表を務める小原潤一さんは4代目という老舗の製作所です。正確な創業年は不明ですが、曾祖父の藤太郎さんが前身となる「大和木工」を始めたのが大正年間だそうです。現在は既製品家具はもちろん、別注やオリジナル家具の製造も多いです。

小原木工はキッチンボードやサイドボード、書棚などの棚ものの製造が中心ですが、過去には寺院の祭壇を手掛けたりすることもありました。「うちには木材を加工する最新機械はありません。それでも長年積み重ねてきた経験と勘で、ミリ単位の作業も正確に行うことができます」との言葉に、小原さんの自信がうかがえます。

家具店からのオーダーについても図面通りつくるだけでなく、家具職人としての立場から提言することもあるそうです。「よりよい

ものをお客様に提供するため、発注者と受注者というだけの関係ではなく、一緒にものづくりするという意識を大切にしています」。また、木目が美しいゼブラウッドをはじめとした多種多様な材料が集まる大川という土地柄を活かし、大川木工まつりでは木製名刺入れなどの遊び心がある作品も好評。フェイスブックやブログ

を通じて注文が入ることも。そのほか、九州産業大学との産学連携プロジェクトにおいては、学生たちのアイデア取り入れながら共同製作も行っています。



### TOP VOICE

モットーは「質実剛健」ならぬ「質実貢献」。誠実で良質なモノづくりで、クライアントやお客様に貢献できるよう努めています。今後は自社ホームページも立ち上げ、木製名刺入れなどの雑貨を受注販売できる体制も整えていく予定です。





大手量販店や全国の家具小売店が顧客。

棚物を中心に多品種を製造。————— 株式会社 近藤産業



株式会社 近藤産業

所在地/〒840-2102

佐賀県佐賀市諸富町大字為重200-4

代表者/近藤 真一郎

TEL0952-47-3333

FAX0952-47-3590

創業/昭和47年

資本金/ 1,000万円

営業時間/ 8:00~17:00

定休日/日曜・祭日、第2・4土曜日



近藤産業を率いる近藤社長は、グループの中核をなす(株)近藤材木店、ホテル賃貸業の(有)近藤建物、不動産管理会社の(株)近藤興産の社長を兼務しています。

近藤社長は東京の貿易会社でのサラリーマン生活後、大川市のなかでも歴史ある近藤材木店に入社。その後、家具製造の近藤産業を立ち上げました。「もともと材木商なので、資材をもっと効率よく売れる方法は



ないだろうか」と家具パーツ製造の会社を立ち上げたのです」と近藤社長。当初は大川で作っていないような家具を作ろうということで、ノックダウン式のカラーボックスの製造から始まりましたが、今では食器棚や書棚などを1日100~150本程度製造するまでになり、食器棚やチェスト等の製造に加え、ソファやベッドなど輸入家具の販売を行っています。

主要取引先は大手家具量販店、全国の小売店です。自社工場での製造のほか、ベトナム、中国で製造された製品を輸入して販売しています。



#### TOP VOICE

家具パーツの製造から始まり、今では棚物を中心に多品種を自社生産しております。また、計画的な生産を徹底し欠品しない態勢を整えております。お気軽にお問い合わせください。

